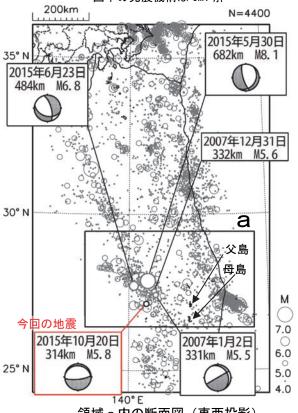
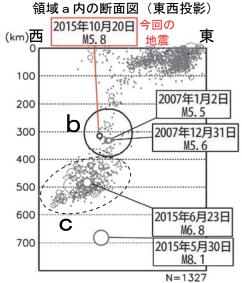
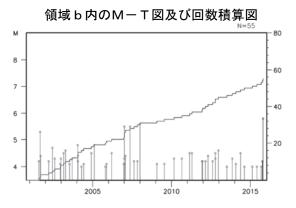
10月20日 小笠原諸島西方沖の地震

震央分布図 (2001年1月1日~2015年10月31日、 深さ0~700km、M≥4.0) 2015年10月の地震を濃く表示 図中の発震機構はCMT解







2015年10月20日18時29分に小笠原諸島西 方沖の深さ314kmでM5.8の地震(最大震度3) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部 で発生した。発震機構(CMT解)は、概ね鉛直 方向に圧力軸を持つ型である。

2001年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域 b)は、M5.0以上の地震が時々発生している。今回の地震の震源から約100kmから200km深い、深さ500km前後の場所(領域 c)では M6.0以上の地震がしばしば発生しているが、領域 b内では M6.0以上の地震は発生していない。また、今回の地震の震源から約350km深いところでは、2015年5月30日に M8.1の地震(最大震度5強)の地震が発生し、東京都で地震関連負傷者8件、埼玉県で負傷者3人、神奈川県で負傷者2人等の被害を生じた(総務省消防庁による)。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域 d)では、M7.0 以上の地震が時々発生している。

震央分布図 (1923年1月1日~2015年10月31日、 深さ0~700km、M≥6.0)

